

# 下野市立国分寺中学校

## 1 学校課題

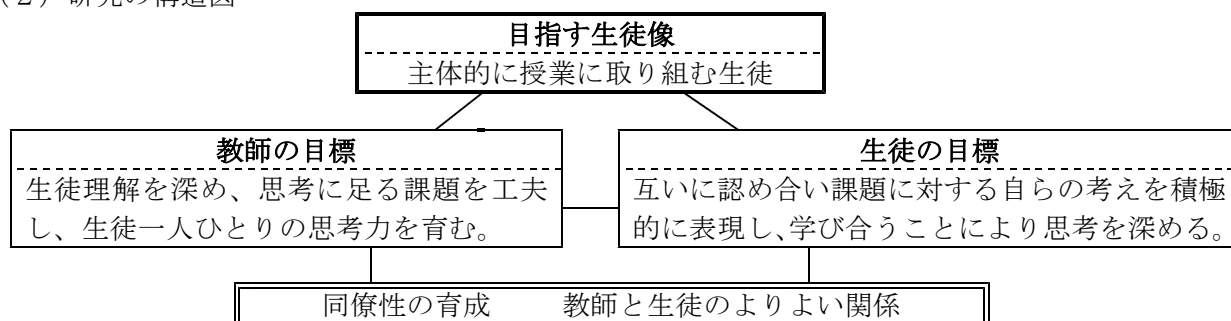
「思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の充実」  
～生徒のよりよい学び合いを生かして～

## 2 研究計画

### (1) 研究主題設定の理由

本校では、平成23年度に「新学習指導要領推進事業」実践モデル校に指定され、「言語活動の充実」に取り組んだ事をきっかけに、生徒の思考力・判断力・表現力を育てるため、学習活動に加え、学校生活の様々な場面で話し合いや学び合い活動を設定し、生徒一人一人の良さを伸ばそうと考えている。これまでの研究で生徒や我々教師の意識も変わり、学びの共同体の授業スタイルを取り入れた授業が定着してきた。ただ、研究の成果が具体的な数値となって表れない事への焦りや、定期異動によって職員が多く入れ替わってきたこともあり、学びの共同体の授業を全職員で共通理解し、研究を続けることが何より大切なこと考えた。さらに、「生徒の思考に足る学習課題の工夫・設定」も意識して研究していく。

### (2) 研究の構造図



## 3 研究内容

### (1) 学びを中心とする授業の工夫・改善（一部抜粋）

教科	授業の工夫・改善
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した単元（文法）を用いた長文問題を解くというジャンプ課題。</li> <li>説明文の学習で、要約力、文章構成力、批判的読解力をつけた後、自分で環境問題についての文章を書くというジャンプ課題。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平行線と角」の単元で図形の内角の和を求める際、ジャンプ課題としての図形の選択（くさび形、星形、七つ星型）</li> <li>「三平方の定理」の単元で三角形の面積を求める際、ジャンプ課題としての二等辺三角形の底角の大きさ（<math>60^\circ</math>、<math>30^\circ</math>）</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験カードを記入させ、課題や結果、考察などをまとめることで書く力をつける</li> <li>実験方法を自分たちで考えて計画するというジャンプ課題。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習に即した読み物題材をジャンプ課題に設定する。</li> <li>実際の音声を使ったリスニングをジャンプ課題としてやる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の授業で最後に何を学んだか文章にまとめ、書く力をつける。</li> <li>アルトリコーダーアンサンブル（3年）で曲表現に自分たちの思いを反映させるというジャンプ課題。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品制作の際に「制作の意図」「デザインコンセプト」を文章で表現する事で書く力をつける。</li> </ul>

(2) 授業公開、授業研究会の実施

月	実施内容	参加者
6	・校内授業研究会 1年理科 2年英語 3年社会 6月3日(水)	全職員
7	・S&U授業研究会 2年理科 7月1日(水) 指導者 久保田善彦先生(宇都宮大学教授)	全職員
10	・校内授業研究会 3年英語 10月14日(水) (学力向上アドバイザー事業 綱川浄恵先生)	全職員
11	・校内授業研究会 1年国語 11月18日(水) (学力向上アドバイザー事業 綱川浄恵先生)	全職員
12	・自主公開研究会 2年数学 12月2日(水) 指導者 佐藤学先生(学習院大学教授)	全職員 市内外教職員
	・S&U授業研究会 2年道徳 12月16日(水) 指導者 和井内良樹先生(宇都宮大学准教授)	全職員 市内教職員
10～2	・校内授業公開(一人一研究授業)、ミニ研究会	関係職員

- ・学びの共同体の理念を取り入れた授業を展開することを念頭に授業研究会を展開した。生徒の学び合いにふさわしいジャンプ課題、教師の振る舞い等を生徒の活動する姿から我々教師が学ぶという形で研修をおこなった。
- ・佐藤学先生を指導者として実施した公開授業研究会では、本校職員に加え県内外から多数の参加者を迎え、今までの研究成果を振り返る良い機会となるとともに、今後の研究の方向性も明確になった。

(3) その他(職員研修、各種調査分析、先進校視察)

月	実施内容	参加者
4	・平成27年度学校課題の検討	学習指導部
	・学習集会(学びの作法、コの字型機の配置確認、模擬授業)	全校生徒、全職員
5	・学校課題の提案・研究計画書の再確認	研究主任他
7	・授業アンケート(A期)	全職員
	・学力向上プラン作成①(とちぎっ子学習状況調査結果分析)	全職員
8	・「群馬学びの会」夏期研修会参加	5名参加
	・学力向上プラン作成②	全職員
9	・先進校視察(牛久市立牛久南中学校) 9月29日(火)	2名参加
10	・先進校視察(八千代市立阿蘇中学校) 10月19日(月)	2名参加
11	・先進校視察(秦野市立南が丘中学校) 11月10日(火)	1名参加
12	・授業アンケート(B期)	全職員
1	・校内研修 今年度の成果及び次年度の学校課題検討	全職員
3	・次年度の学校課題決定	学習指導部

- ・2回行った授業アンケートは、生徒が授業をどう感じているかを知り授業改善のヒントとなるもので、教師それぞれが「生徒に寄り添った授業」を意識する機会となった。
- ・先進校視察や「学びの会」夏期研修に10名が参加し、研修の機会を得ることができた。

## 4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査の結果から、生徒が授業に意欲的に取り組んでいる様子が伺える。数学や理科においては「活用」「思考・表現」に関する分野で県平均点より上回っていたり、「グループなどで話し合い、自分の考えを深める事ができている」と考えている生徒の割合が多かったりすることから、本校の研究が定着していると考えられる。

(2) 今後の課題

「自分の考えや意見を友達の前で発表するのが苦手」「考えを文章にまとめて表すのが苦手」と考えている生徒の割合が多いことと、生徒のよりよい学びを成立させるために我々教職員が学びの共同体の理念を追究し、研修を充実させることが必要と考えられる。